

平成22年度 入賞・最終選考作品集

# 十七字のふれあい

～十七字 世代をつなぐ 架け橋に～



主催 福島県教育委員会

# 最 優 秀 賞



【体験場所 家の庭】

お手つだい ひいばあちゃんと くさむしり

福島市立平田小学校 2年 小林 南菜

ひまごらに 手足をかりて 水はこぶ

曾祖母 長尾 キヨ

評

家事を手伝うことは子どもにとって欠かせない体験であり、この作品は、その姿が日常の中に自然に溶け込んでいる様子が伝わってきます。また、親以外の大人との関わりは、子どもの自立にはかけがえのない貴重な体験となります。 塚本 繁

【体験場所 おふる場】

おふる場で パパとわたしの コンサート

小野町立小野新町小学校 2年 二瓶 那菜

風呂場にて 我が娘と奏でる ハーモニー

父 二瓶 秀征

評

父娘のコンサート会場であるお風呂から、すてきな歌声が聞こえてくるようで、慈しみ合う父娘の関わりを十分感じ取る事が出来ます。「歌が培う父娘の絆」家庭におけるお父さんの役割の大切さを養育に十分に発揮していることが、お子さんの健やかな成長を促しているものと感じました。 坂本忠雄

【体験場所 自宅】

あさがおが ぼくのせのびを おいこした

泉崎村立泉崎第一小学校 1年 長久保太陽

朝顔の 簾で涼む 子とともに(共に)

母 長久保順子

評

お母さんと共に大事に育てたあさがお、ぐんぐん伸びて背伸びしてももう届かないほどに。そのときの喜びと驚き、それに、どこまで育つのだろうという期待感が字間から読み取れます。あさがおの観察を熱心に行うお子さんの姿と、涼を取るまでに育った朝顔の下で、母子が語らう微笑ましい姿がうかんできます。 坂本忠雄

【体験場所 雲雀ヶ原祭場地】

父とボク 馬上の会話 武者言葉

南相馬市立金房小学校 4年 結城 孝斗

野馬原に 親子揃いし 晴れ姿

父 結城 善孝

評

父と息子の阿吽(あうん)の呼吸の言動が手にとるように分かり、私たちの胸を打ちます。武者言葉、野馬原ということばを見つけられたことは「天晴れ(あっぱれ)」です。名詞だけで句を構成され流れるようなリズムとすっきりした形でまとめられたことに「兜(かぶと)を脱ぐ」思いがします。 津村 栄

【体験場所 南三陸】

旅行先 父と一緒に ひとつぶる

いわき市立植田東中学校 2年 赤津 利也

子の背中 広さおどろく 露天風呂

父 赤津 守江

評

「ひとつぶる」というおおらかさというか野趣味の効いたことばは、開放された旅行気分と屈託のない明るい親子関係から生まれたもので、心あたまる思いがします。それに息子の背中のおどろいたのは、露天風呂だったのもドラマチックです。「名詞止め」の効果が大きかったのも事実で、すっきりした感じがします。 津村 栄

## 優 秀 賞



【体験場所 お墓】

山の墓 みんな蝉が 経を読む

福島市立飯野中学校 1年 府野 拓朗

線香を 薫(た)きたる辺り 蝉時雨

祖母 大泉 宏子

---

【体験場所 ばあちゃんの家】

ねえばあちゃん とおしてあげる はりの糸

須賀川立柏城小学校 4年 斎藤 俊輔

いつの日か 見守るつもりが 見守られ

祖母 磯 禮子

---

【体験場所 会津まつり藩公行列】

命賭け 守った名誉 受け継いで

会津美里町立高田中学校 2年 清水 翼

気高さを 貫け君も 会津藩

母 清水 浩美

---

【体験場所 自宅】

読書はね 本と友だち できちゃうよ

相馬市立大野小学校 2年 加藤 瑞葵

ねる前の 一緒に楽しみ 読みきかせ

母 加藤 知子

---

【体験場所 家の庭】

テント張り やったね庭が キャンプ場

いわき市立田人第一小学校荷路夫分校 6年 小野 航太

陽が落ちて テントの中で マクラ投げ

母 小野 恵美

# 佳作



【活動場所 剣道の練習】

けいこして いつか父から 面一本

郡山市立安積第一小学校 6年 小林 良吉

「まだまだ」と 嬉しさかくし 竹刀ふる

父 小林 幸雄

---

【活動場所 会津の老舗菓子店】

伝統の 技を体感 菓子作り

郡山市立郡山第二中学校 1年 森茂 雅也

はみ出した あんに笑顔の 福来たる

父 森茂 宗一

---

【活動場所 海】

貝がらに 耳をすませば 海の音

西郷村立熊倉小学校 3年 大迫 由奈

波の音 貝にしまって 家路つく

父 大迫 賢司

---

【活動場所 自宅の庭】

巣から落ち そっと手を取り ツバメの子

棚倉町立棚倉中学校 2年 藤田 悠希

巣にもどし 親子の絆 娘(こ)と守り

母 藤田美恵子

---

【活動場所 母の実家】

新盆に 馬牛作って 祖母を待つ

塙町立塙中学校 2年 根本 竜徳

立秋に 息子へ伝承 盆かざり

母 根本久巳江

【活動場所 自宅】

初めての かやが楽しみ 熱帯夜

喜多方市立第二小学校 4年 渡井 琉平

蚊のおかげ 孫と添い寝の 蚊帳の中

祖母 渡井ひろ子

---

【活動場所 公園】

赤とんぼ 羽がキラキラ 光ってる

檜枝岐村立檜枝岐小学校 2年 星 信清

とんぼ追う 我が子の瞳 輝いて

母 星 博子

---

【活動場所 母の実家】

流れゆく わたしの作った なすの牛

南相馬市立小高小学校 4年 花里 莉子

馬の背に 父母を想いて 花のせる

母 花里加代子

---

【活動場所 麓山の火祭り】

麓山での たいまつかつぐ 男道

富岡町立富岡第一小学校 6年 野口 直哉

無事帰る 安堵と感動 息子の背

母 野口恵美子

---

【活動場所 自宅】

荒れた手で たたんだタオルへ 母想う

福島県立磐城桜が丘高等学校 1年 山本 潮香

母と子の タオルと想い 重ね合う

母 山本 敏美

## 学 校 賞

学校賞は、「十七字のふれあい事業」に積極的に取り組んでいただいた学校に授与されます。

本宮市立本宮小学校

郡山市立郡山第二中学校

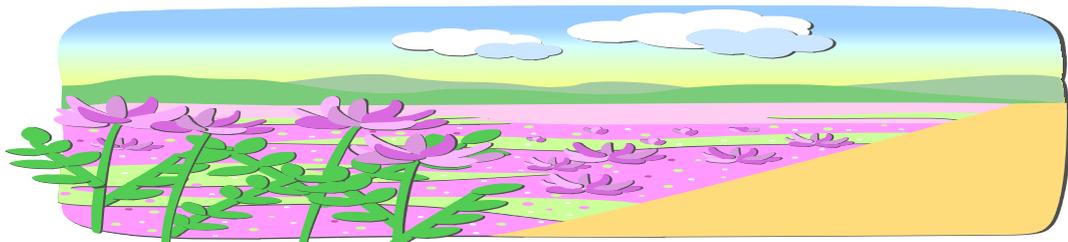
棚倉町立棚倉小学校

磐梯町立磐梯第一小学校

南会津町立荒海小学校

南相馬市立金房小学校

いわき市立大野第二小学校



# 最終選考まで残った作品

天国の父さん見てね ホームラン 福島市立福島第四小学校 5年 大内 佑哉 伝えたい 息子の声を 空高く 母 大内喜久子	すてネコの やせた体を 母に見せ 伊達市立梁川小学校 4年 宮本 祐菜 抱き上げた 細い体に 心折れ 母 宮本真理子
登りきり 見渡す景色 達成感 福島市立矢野目小学校 5年 栗田 悠真 我息子 山に負けない その雄姿 父 栗田 勉	平成の 牛若丸が 出陣だ 国見町立藤田小学校 6年 佐藤実希子 秋彼岸 甲冑まとい 国見の日 母 佐藤 順子
サラダでね 元気モリモリ がんばって 福島市立大笹生小学校 2年 柴田 歩 ありがとね 涙で光る サラダです 母 柴田 恵	味見して にっこり笑う おかあさん 国見町立藤田小学校 6年 佐藤 玲海 ママの味 覚えていくね だんだんと 母 佐藤 寿枝
だいじょうぶ ぼくのふでばこ たからもの 福島市立笹谷小学校 2年 渋谷健太郎 熱くなる 母の目頭 子の気持ち 母 渋谷美保子	つかんでて 離すと真っ直ぐ 進めない 二本松市立塩沢小学校 1年 菅野 愛結 大丈夫 十分真っ直ぐ 進んでる 父 菅野 健太
かみむすび ママとののはなし はずむあさ 福島市立笹谷小学校 4年 菅野 里菜 毎朝の 髪結い日課 いつまでか 母 菅野 里理	ふむほどに うどんのこしが うまさます 二本松市立塩沢小学校 4年 遠藤 亮太 ふぞろいの めんをほおばる うれしさよ 母 遠藤 幸枝
父の球 徐々に捕り 重み知る 福島市立清水中学校 2年 武山友里恵 投げ返す グローブ伝わり 手の痛み 父 武山 利紀	けい流で ニジマスつった いっぱいだ 二本松市立石井小学校 4年 三菅 遥生 どしゃぶりの 中で輝く 我が息子 母 三菅 厚美
いざゆかん 空に伸びたる 花の路 福島市立信夫中学校 2年 大内 萌子 ひまわりも 十四の君に かすみ見ゆ 母 大内 幹子	きれいだね 家族で歩く おぜの道 二本松市立油井小学校 4年 松本 茉優 夏来たら 思い出してね 尾瀬の道 母 松本キヨ子
まかせてよ 毎日サボらず お米とぎ 福島市立飯野中学校 1年 加藤 碧 毎朝の 頂くご飯に 感謝して 祖母 加藤 光子	初登山 息あらくする お母さん 二本松市立新殿小学校 5年 佐藤 汐莉 わがむすめ 心配よそに ふりかえる 母 佐藤 直美
四つの手 母と並んで ハーモニー 福島市立飯野中学校 2年 川瀬 涼音 むすめとの 重なる音色 未来(とあく)へと 母 川瀬 誓子	つるがじょう いくさのようす ものがたる 二本松市立東和小学校 2年 渡辺 望夢 息子にも 歴史を刻む 白虎隊 母 渡辺 仁美
母の味 今はトナリで 見習い中 福島市立飯野中学校 2年 山崎 望夢 夢だった 娘と一緒に 台所 母 山崎 芳子	ばあちゃんと ももをとったよ あさはやく 大玉村立大山小学校 1年 斎藤 育 桃をとる その手つきは 親をこえ 父 斎藤 一範
初めてで ドキドキしたよ 手打ちそば 川俣ジュニアバドミントンシャトルワ 6年 池田 緋巳 そばを切る 食べたさ逸(はや)り 極太麺 母 池田 和枝	パパすごい 水きり五かい なつの川 大玉村立大山小学校 2年 岩崎 風里 よおく見る 五回よりも いったらろう 父 岩崎 実
こしをふみ つぶれないか しんばいだ 川俣町立山木屋小学校 2年 中村 冬美 腰ふまれ 孫の成長 かみしめる 祖母 遠藤 安子	じてんしゃで ままとれんしゅう たのしいな 本宮市立本宮小学校 1年 安部 涼音 自転車か 上達するほど 母走る 母 安部 郁子
夏の夜 川がきれいいで 蛍とぶ 桑折町立醸芳小学校 5年 吉田 智弥 蛍火を 受け継ぐ心 世代超え 母 吉田 明美	ねつききゅう そこがぬけたら どうしよう 本宮市立本宮小学校 2年 官野 直瑠 底抜ける 子の一言に 腰ぬけて 母 官野亜麻妃
流れ星 まるでボクの 夏休み 桑折町立半田醸芳小学校 5年 吉田 拓生 肩三つ 並べて見てる 流れ星 母 吉田みどり	なつ休み ぼくがそだてた ミニトマト 本宮市立五百川小学校 2年 伊藤 広起 赤くなれ かげで水やり いのる母 母 伊藤 綾子
お母さん けん使ってくれて ありがとう 伊達市立梁川小学校 4年 橋谷田 柊香 お願いね 手づくり券で かたたたき 母 橋谷田由紀子	バイク乗り 父のせなかに しがみつく 本宮市立五百川小学校 5年 遠藤 陽菜 バイク乗り 娘と共に 風になる 父 遠藤 義光

じいちゃんの じいちゃんたちも よるこぶね  
本宮市立和田小学校 3年 渡辺 春奈  
祖父母との 思い出語り 墓そうじ  
母 渡辺美保子

うでずもう まけてくやしい もう一ど  
郡山市立安積第一小学校 2年 五十嵐海音  
顔笑い 負けてたまるか 本気出し  
母 五十嵐美和

キャンプ場 協力し合った 母とぼく  
郡山市立安積第一小学校 5年 大塚 治  
汗だくです テントはるのも 火起こしも  
母 大塚 喜子

父さんに ご飯を作って 母気取り  
郡山市立桃見台小学校 5年 本保明日香  
たまご焼き 受け継いでるな 母の味  
父 本保 賢二

熊ベルに 命をのせて 歩きだす  
郡山市立桃見台小学校 6年 黒澤 梨紗  
熊こわし 子に手を引かれ いざ行かん  
母 黒澤 路英

はやくおき じいといっしょに たねをまく  
郡山市立桑野小学校 2年 関 さくら  
お手伝い 種子がこぼれる かわいい手  
祖父 関 隆一

なぜできぬ アナログな母 かたまるな  
郡山市立郡山第二中学校 1年 久納 岬  
パソコンは 息子先生 母生徒  
母 久納 明美

今年こそ 願う気持ちを 指にこめ  
郡山市立郡山第二中学校 1年 杉山 愛莉  
ステージの 我が子の音に 気もそぞろ  
母 杉山佳代子

念願の 夢のステージ 今ここに  
郡山市立郡山第二中学校 1年 能登みのり  
仏壇に 祈る我が子の 初舞台  
母 能登 香

宝物 祖父から聞いた 子守り歌  
郡山市立郡山第二中学校 2年 高橋あり紗  
母と子の 鼻歌同じ 子守り歌  
母 高橋万由美

稲刈りの かたわらでする 稲子とり  
郡山市立郡山第二中学校 3年 石田 裕理  
とびはねる 稲子のごとく あそぶ吾子  
母 石田 早苗

ひたすらに 夢追いかけた あの瞬間  
郡山市立郡山第二中学校 3年 高橋 愛未  
一心に 君を目で追う 熱き夏  
母 高橋あい子

毎朝の 風鈴の音 目が覚める  
郡山市立郡山第二中学校 3年 曲沼 絵理  
風鈴を 手で鳴らし 朝起こす  
母 曲沼 知子

プールでは 自由におよげて 気持ちいい  
福島県立郡山養護学校(中学部) 3年 佐藤 真音  
不自由な 手足もプールでは 人魚姫  
母 佐藤 智恵

草食べる かあさん牛は 子におちち  
須賀川市立第一小学校 4年 武藤 未菜  
大切な 命について 語り合う  
母 武藤 未恵

雷だ 急いでとりこむ 私達  
須賀川市立第二小学校 5年 安齋 会香  
鮮やかな 連携プレーで 難逃る  
母 安齋 由美

あついで テントの中は べつせかい  
須賀川市立第三小学校 3年 高木ほのか  
夏の夜 テントの中で 読みきかせ  
母 高木 寿子

じいちゃんと 共になやんだ 十七字  
須賀川市立第三小学校 6年 榊原 侑起  
夢に見た 孫との俳句を 共に詠む  
祖父 八島 彬乃

ママよりも じょうずにだっこ してあげる  
須賀川市立西袋第一小学校 5年 山田 美緒  
泣き声で 親よりはやく かけつける  
母 山田比佐子

とうさんと くるまあらって ぴっかぴか  
須賀川市立柏城小学校 1年 渡辺 亮  
こどもの手 せまいところに 手がとどく  
父 渡辺 光弘

てごわいぞ かにさんまって どこいくの  
須賀川市立柏城小学校 3年 鈴木 楽人  
つかまえる つもりがカニに ハサマレタ  
父 鈴木 幸一

大波で わたしの体 一回転  
須賀川市立柏城小学校 3年 先崎まゆ子  
海に来て 子供以上に 大はしゃぎ  
父 先崎 修

ごみ拾い 住んでる町に 感謝して  
須賀川市立柏城小学校 6年 渡辺 剛琉  
子供たち せり合いながら ごみ拾う  
父 渡辺 光弘

えほんはね きくとねむれる まほうだね  
須賀川市立大森小学校 1年 関根 菜穂  
絵本読み 続きは夢の 中でだね  
母 関根 則美

目が覚めた クワガタとりに 出発だ!  
須賀川市立長沼東小学校 4年 森藤 風香  
約束を 果たすよるこび 夏の朝  
父 森藤 雄一

あつい夏 ぼくはじてん車 ちちはしる  
鏡石町立第一小学校 2年 吉成 太一  
息あがり 体力ないなと 感じた日  
父 吉成 貴志

手作りで 売っている物より おいしいよ  
鏡石町立第一小学校 4年 有馬 百華  
体験で 親子の笑顔も 作ったよ  
母 有馬 孝子

おてつだい ままのえがおが みたいから  
鏡石町立第二小学校 3年 高原 優里  
台所 あなたの汗が 調味料  
母 高原 里美

父さんと 鳴り響かせる 盆太鼓  
鏡石町立第二小学校 6年 榮 玲美  
盆太鼓 ふるさとおもう いつまでも  
父 榮 三徳

かがくかん ふねがみれたよ のりたいな  
天栄村立牧本小学校 1年 猪越 魁人  
繋ぐ糸 絆深まり 親子船  
父 猪越 隼人

たんぼでね いろんなむしが おにごっこ  
天栄村立牧本小学校 1年 薄井ゆうき  
網を手に 田んぼではしゃぎし 子にかえる  
母 薄井 理絵

流れ星 気持ちばかりが 先走り  
天栄村立湯本中学校 3年 田代 尚慎  
星流る 言葉一つも 出ぬままに  
母 田代 佳子

いもほりは ほってもほっても うね続く  
石川町立石川小学校 5年 石沢 早紀  
これみてみ 娘はげまし いもアート  
母 石沢 敏子

盆休み 十七人で すいか食う  
石川町立石川小学校 6年 佐藤 直輝  
四世代 話に食に 花が咲く  
母 佐藤こずえ

行ってきます 今日も元気に おさ毛がみ  
玉川村立玉川第一小学校 3年 眞弓 歩希  
髪とかし 心を込めて おさげがみ  
母 眞弓 典子

明日こそ 絶対とるぞ おすカプト  
平田村立蓬田小学校 5年 上遠野瑞貴  
かけよって ため息一つ めすカプト  
父 上遠野 正

夏の海 すずしく魚が よってくる  
浅川町立浅川小学校 4年 緑川 晴貴  
貝殻拾い 海で私も 子供に戻る  
母 緑川ひろみ

ふるそうじ きれいになると うれしいな  
浅川町立山白石小学校 1年 笹島志有子  
風呂の底 泡が残るも 満点を  
母 笹島 紀子

ほたるとり ほうきをふって とれたかな  
古殿町立田口小学校 2年 本郷 剛琉  
夏の夜に 子供に還り ホタル追う  
母 本郷 裕子

虫追って シャッターチャンス のがさない  
古殿町立山上小学校 6年 野崎 真優  
補助役が 本気になって 虫さがし  
父 野崎 貴弘

ぼんだいこ そろいのはっぴで ながしうち  
三春町立三春小学校 4年 伊藤 千尋  
晴れ姿 娘の太鼓で 踊る母  
母 伊藤恵美子

はんごうの ご飯たき方 教えてね  
小野町立浮金小学校 5年 生天目莉空  
分からずに ネットで探し 教えたよ  
父 生天目芳秋

初ロード ふるえる足で 走りぬく  
田村市立緑小学校 3年 荒金 佳太  
ゴールした 我が子をぎゅっと 抱きしめる  
母 荒金久美子

なまクリーム ぐるぐるまぜて たのしいな  
白河市立白河第一小学校 1年 金内りょうた  
子と作る デコポコケーキ 味うまし  
母 金内 恵美子

うちのわ やさいばたけに へんしんだ  
白河市立白河第一小学校 2年 戸賀ゆうと  
お店では 買えない味を 子と作る  
母 戸賀久美子

わっくわく どんなほんかな よみきかせ  
白河市立白河第五小学校 1年 瀬川 真央  
うっきうき 子供に返って 本えらび  
母 瀬川由美子

とべるまで あきらめないぞ にじゅうとび  
白河市立小田川小学校 2年 星 あき人  
あと少し はげます自分も ジャンプする  
母 星 智子

かぶとむし はじめてみたよ しろいはね  
白河市立表郷小学校 1年 鈴木 海翔  
羽化するよ じっと見てねと 六時間  
父 鈴木 晴夫

ひと口ね 母のおねだり 口でかい  
白河市立小野田小学校 3年 上遠野 恵生  
味見したい ほおばる笑顔と 幸せを  
母 上遠野さとみ

じいちゃんの 先生きどり 楽しそう  
西郷村立熊倉小学校 6年 小林 朝香  
夏休み 孫に教える 筆づかい  
祖父 佐藤 勝久

今日だけは 子がめになりきる いなわしろ  
西郷村立小田倉小学校 5年 伊東 実紗  
親子亀 きらきら光るは 笑顔かな  
母 伊東 明美

じしよいらず なんでもしってる おばあちゃん  
西郷村立米小学校 2年 秋元 結衣  
物事を 孫に教える 楽しさよ  
祖母 鈴木トシ子

追いついた 同じ目線で 見る景色  
西郷村立西郷第一中学校 2年 梶山 瑠花  
肩並ぶ 娘と歩く ほこらしさ  
母 梶山ひとみ

ぼんおどり たのしくおどって とくべつしょう  
中島村立中島幼稚園 年長 三森 結愛  
娘(こ)と共に 見よう見まねで 盆踊り  
父 三森 義弘

妹が あやすと笑う うれしいな  
矢吹町立中畑小学校 2年 鈴木寿璃愛  
母よりも 母親らしい 我が娘  
母 鈴木 瞳

父のため クッキー作って 病室へ  
矢吹町立中畑小学校 4年 鈴木 乃愛  
何よりも 楽しみなのは この笑顔  
父 鈴木 正博

じいちゃんが なげたボールを ホームラン  
矢吹町立三神小学校 1年 圓谷 風優  
飛んで行く ボールの先に 夢を見る  
祖父 圓谷 利治

お母さん あと十回だ ついてきて  
矢吹町立矢吹中学校 1年 国井 宙太  
簡単と 気軽につき合い 筋肉痛  
母 国井 晶子

ダイビング えさを持つ手に 魚来る  
矢吹町立矢吹中学校 2年 佐藤 亮介  
初ダイブ 息子と手をとる 龍宮城  
父 佐藤 政亮

見た景色 自分の小ささ 身にしみた  
泉崎村立泉崎中学校 2年 齋藤 美和  
大都会 夢があふれる おもちゃ箱  
母 齋藤みどり

おこられた おとうにビール そとだす  
棚倉町立棚倉幼稚園 年長 古川 雄輝  
やられたな 出されたビールで 仲直り  
父 古川 勝夫

やどかりだ アクアマリンで 見つけたよ  
棚倉町立棚倉小学校 1年 小林 奈央  
疲れた子 背負う姿は やどかりだ  
父 小林 和司

きれいだね おおきなおはな さわりたい  
棚倉町立棚倉小学校 1年 佐川すみたか  
この想い 叶えさせたい 親心  
母 佐川 真寿美

おせんべい しょう油がこげて いいにおい  
棚倉町立棚倉小学校 4年 齋藤 詠美  
こげちゃうよ かえすお箸に 手を添える  
父 齋藤 雅彦

会話中 娘との	私の声が 7対3 棚倉町立棚倉小学校 会話に欲しい 新辞典	4年	佐藤 友香 母 佐藤 維子	本よりも つくったお話 ママがすき 鮫川村立青生野小学校 てきとうに 思いついたら 笑わせる	2年	白石 結菜 母 白石真希子
夏キャンプ テント寝の	テントの中が せまくなり 棚倉町立棚倉小学校 川の字長く なりにけり	6年	松江 友貴 母 松江 容子	いつもより 母がやさしい 何かある 鮫川村立青生野小学校 手伝いと さとられ今日も 失敗か	5年	白石 和也 母 白石真希子
ゲームを見 ゲームはね	目が悪くなる もうやめよ 棚倉町立近津小学校 心の目にも よくないよ	3年	関 優吾 母 関 邦子	記念樹に 夢の数だけ 実がなった 鮫川村立鮫川小学校 夢の実に いずれ大樹の 願い込め	6年	小松 玄知 父 小松 正三
盆踊り 不景気で	くじ引きひいて 一等賞 棚倉町立近津小学校 中身の景品 三等賞	5年	菊池 諒輝 父 菊池 貴良	お母さん おんぶできたよ すごいでしょ 会津若松市立城西小学校 すごいねと 我が子の背中で 涙声	4年	遠藤 新 母 遠藤まゆみ
ひきざんを 変わらない	ゆびおりかぞえ ままかして 塙町立塙小学校 ママもママに ゆびかりた	1年	大竹 彪雅 母 大竹 弘美	しわのばし せんたくほせば あとでらく 会津若松市立城西小学校 子から孫 昔の知恵を リレーする	4年	鈴木 奏来 母 鈴木由美子
あいたいな 同じ部屋	はいってみたいな ほんのなか 塙町立塙小学校 本を開けば 別世界	1年	増子 羽海 母 増子 由紀	整って 父の回答 座布団一枚 会津若松市立大戸小学校 謎かけが 会話を増やす 架け橋に	4年	大関 一輝 父 大関 達夫
ピッチング 四十肩	父を相手に 真けん勝負 塙町立塙小学校 忘れて息子に 意地を張る	5年	目黒 大地 父 目黒 信浩	きらり光る おんぶはおどる 魔法のように 会津若松市立第二中学校 メロディーが 心に響き 涙(なだ)そうそう	3年	武田 眞歩 母 武田 歩
いなごとり いなご追い	ぼくもいっしょに とびはねる 塙町立高城小学校 稲穂の波に 見え隠れ	1年	吉成 こうせい 父 吉成 一弥	ランニング 母と走るよ 伸びのびと 会津若松市立第四中学校 夜の道 足も話も 弾んでる	2年	長谷川 咲 母 長谷川茂美
はじめての 最後まで	水泳大会 がんばった 塙町立高城小学校 やる気と根性 一等賞	2年	青砥 世来 母 青砥 三恵	痛む足 ゴールこえれば はずむ足 磐梯町立磐梯第一小学校 炎天下 あせも靴ずれ 靴の底	6年	星 都 母 星 真由美
素振りした 共に振り	次の日手には まめだらけ 塙町立塙中学校 親子で競う 豆の数	1年	目黒 拓洋 父 目黒 信浩	入水の 岩のすきまの 先見え 猪苗代町立長瀬小学校 洞窟に 灯火見つけ ほっとする	5年	大原 知也 父 大原 満
夏の空 その一音	響く音には 思いあり 塙町立塙中学校 母の思いも こめながら	3年	割貝 琴音 母 割貝智恵子	まだかなと 待ちつつ作る ハンバーグ 北塩原村立裏磐梯中学校 娘作 優しい夕食 涙味	2年	榎本 泉生 母 榎本 智美
くわがたが 息子には	たくさんいたよ くぬぎの木 矢祭町立東館小学校 おしえてあげる 秘密の木	2年	斉藤 玲央 父 斉藤 勇	謎の鳥 川で見つけて 図鑑ひく 西会津町立尾野本小学校 鳥図鑑 空飛ぶ鳥と 子を重ね	6年	秦 拓人 母 秦 千香子
かみなりと 久しぶり	雨のコラボで ねむれない 矢祭町立関岡小学校 雷雨の夜に そい寝する	3年	佐藤 颯斗 母 佐藤 文恵	遊園地 待ち時間さえ 楽しいね 会津坂下町立金上小学校 おしゃべりと 子供の笑顔で 時忘れ	6年	吉田 祥子 母 吉田みき子
夏休み この子見て	最後のころは なみだ顔 矢祭町立石井小学校 昔を思い 苦笑い	4年	熊田 有起 母 熊田 晴見	星々が 空からながめる 願い事 湯川村立笈川小学校 子らが書く 五色のたんざく 輝けり	5年	高倉安理沙 母 高倉 綾子
いのししに まごの手を	でかいもだけ たべられた 矢祭町立石井小学校 かりてししとの ちえくらべ	5年	小松 陸 祖母 小松 清子	火おこしが 楽しいキャンプの おてつだい 柳津町立柳津小学校 点いた火と 輝く子の目の あたたかさ	2年	土橋 柊太 母 土橋 歩
母がきた 古浴衣	ゆかたで楽しむ 夏祭り 矢祭町立石井小学校 娘に着せて よみがえる	6年	小松あさひ 母 小松 淳子	おやかかな ちいさなつばめ かわいいね 会津美里町立高田小学校 輝くね 小さな命 見つめる目	1年	佐藤 俊介 母 佐藤 育子

願いこめ 母の活力 朝ごはん  
会津美里町立高田小学校 6年 鈴木ひかる  
朝ごはん 食べてがんばる 娘(こ)のために  
母 鈴木志美子

だいすきな かぞくみんなで 朝ごはん  
会津美里町立本郷第一小学校 2年 神村 来璃  
おいしいね 地産地消で 三代目  
祖母 神村 正子

やりとげた 思い達成 磐梯登山  
三島町立三島小学校 6年 五十嵐 梓  
子と登る 宝の山に 宝あり  
母 五十嵐幸子

おとうさん こうばでいつも あせだくだ  
金山町立金山小学校 1年 大竹 真菜  
仕事場で 子供とお茶する 心の休息  
父 大竹 勤

そろりかな みんなの声と ぼくの声  
昭和村立昭和小学校 3年 増子 大貴  
探そうか 我が子の声を 目を閉じて  
母 増子 典子

お母さん おしえてあげるよ 泳ぎ方  
南会津町立田島小学校 2年 生亀るきの  
かくしてた かなづちばれて 立場逆  
母 生亀 敦美

イワナとり 動きが速すぎ つかめない  
南会津町立田島第二小学校 4年 星 拓海  
そこだよと 焦る自分が 水の中  
母 星 栄子

ながれ星 ぼくのねがいを かなえてよ  
南会津町立針生小学校 2年 星 虎太郎  
願いこめ 祈った光は 蛍かな  
母 星 奈保美

海に行き 波に流され 一回転  
南会津町立荒海小学校 6年 佐藤 颯  
振り向けば 息子流され 笑う父  
父 佐藤 謙二

人々の へいわをたくす 千羽づる  
南会津町立南郷第一小学校 3年 竹内 千夏  
愛し子の 寝顔見て祈る 平和かな  
母 竹内由美子

父親と 走るジョギング 物足りず  
南会津町立荒海中学校 3年 星 真奈美  
スタートと ゴールは一緒 距離半分  
父 星 雄一

だいすきな ママのまくらを とっちゃった  
下郷町立しもごう保育所 5歳 湯田 大誠  
はさまれて 一番小さく 眠るママ  
母 湯田 由子

自転車で 父の背中を おいかける  
下郷町立榎原小学校 6年 小山 淳  
あらい息 そっと見守る 頑張れと  
母 小山ひとみ

母親に ついでた言葉 ありがとう  
只見町立只見中学校 3年 目黒公太郎  
大変さ わかってよかった 弁当作り  
母 目黒 久美

花もよう ゆかたに夜空に さきみだれ  
新地町立福田小学校 5年 窪田 愛弓  
黒髪に 映りし花火 髪飾り  
母 窪田美佐子

空高く ぼくの打球よ とんでゆけ  
新地町立新地小学校 6年 黒沢虎太郎  
がんばれと 送る声援 とんでゆけ  
母 黒沢 知子

上杉の 城下を父と 学びあう  
新地町立尚英中学校 2年 橋本 一志  
こどもの日 城下が結ぶ 親子愛  
父 橋本 一美

ママみてて ばたあしできた すごいでしょ  
相馬市立大野小学校 1年 柳沢 京吾  
泳げてる! 昨日もくれた ばかりだよ  
母 柳沢 直美

父さんの ふじ山みたい 力こぶ  
相馬市立大野小学校 2年 品川 大耀  
腕相撲 まだまだ負けぬ 親の意地  
父 品川 守亥

きもだめし おはかがこわくて こしぬける  
相馬市立玉野小学校 6年 阿久津莉奈  
四十一 お化け担当 骨折れる  
父 阿久津弘之

みんなみて おおきい力こぶ ぼくのかち  
相馬市立中村第一小学校 1年 池田ゆうけい  
にらめっこ 息子と力こぶに お手上げだ  
母 池田 裕美

おじいちゃん あえたらいいな ゆめのなか  
相馬市立中村第一小学校 3年 富谷 佳奈  
送り火に 子どもと願う 星の下  
母 富谷百合子

ゆかた着て おどるたいこは 父がうつ  
相馬市立中村第二小学校 4年 阿部美奈代  
やぐら下 娘見ながら 打つ太鼓  
父 阿部 吉忠

野馬おいの じょう門ひらき 出じんだ  
相馬市立桜丘小学校 3年 公門 陸  
伝統の 宇多郷送る 門重く  
父 公門 武

初めての パークゴルフで ホールインワン  
相馬市立桜丘小学校 6年 遠藤 僚士  
まぐれだよ 父は言いつつ 手が力む  
父 遠藤 喜雄

みかんいろ おひさましずむ にほんかい  
相馬市立飯豊小学校 1年 増子 結衣  
シャッターを 心の中で きる夕日  
母 増子 栄子

宿題も 仕分けてほしいね お父さん  
相馬市立飯豊小学校 6年 猪狩 桃佳  
小遣いを 仕分けようかな 子供たち  
父 猪狩 浩孝

お母さんと ならんで飛ばす すいか種  
相馬市立磯部小学校 6年 寺島 有華  
気付いたら 軒下いっぱい 黒い種  
母 寺島 陽子

音楽を 奏で楽しむ 家族の和  
相馬市立中村第二中学校 2年 尾形 育恵  
音楽を 奏で深まる 家族愛  
母 尾形 由恵

苗しろに あわて水まく 朝ねぼう  
相馬市立向陽中学校 1年 清信 友喜  
人知れず 水まき直す 親ごころ  
母 清信美智代

メロディーで 伝えるきもち ありがとう  
相馬市立向陽中学校 2年 荒 優花  
捧げたい 星となり師へ 金の“賞”  
母 荒 由美子

おばあちゃん お墓の階段 気をつけて  
相馬市立向陽中学校 3年 荒 拓輝  
大きくなった 孫に手引かれ 墓参り  
祖母 荒 民子

夏休み ひさしぶりだね いとこたち  
福島県立相馬養護学校(高等部) 1年 今野沙弥香  
いつのまに 大人びた顔 たのもし  
母 今野美紀子

もえるひが がらすをとかす ふしぎだな  
南相馬市立原町第二小学校 1年 新田 美緒  
きらきらと 光るガラスと 見つめる目  
母 新田 美和

リコーダー ねえねえ聞いて お母さん  
南相馬市立原町第二小学校 3年 橋本奈瑠美  
「上手だね」 手拍子とれば 名奏者  
母 橋本 朱美

馬具つけて はちまきしめて いざ出陣  
南相馬市立原町第二小学校 5年 岡 茉莉奈  
若武者の 戦飯(ひるめし)作って 無事願う  
母 岡 由紀子

リハビリを えがおでがんばる おばあちゃん  
南相馬市立原町第二小学校 5年 尾鼻 花音  
また一歩 ひ孫の笑顔が うれしくて  
曾祖母 杉本タケ子

あせまみれ いっぱいこごよ ころんだよ  
南相馬市立原町第三小学校 1年 岡田 萌花  
夏空に せみも応援 がんばって  
母 岡田有美子

あっちち 犬もわたしも 川の中  
南相馬市立原町第三小学校 2年 菅野 二葉  
猛暑日の 散歩は孫と 川歩く  
祖父 菅野 清二

つかんでよ ぼくがなげこむ ごうそっきゅう  
南相馬市立原町第三小学校 4年 遠藤 俊介  
まかせとけ どんなボールも 受け止める  
父 遠藤 雄二

おいしいよ ぼくの好物 父がつり  
南相馬市立原町第三小学校 6年 大和田健太  
つり上げた 魚と同じ 目の光  
母 大和田克江

夏の海 なみもはしゃいで 楽しいな  
南相馬市立高平小学校 2年 高野あゆか  
波の音 孫と一緒に 歌ってる  
祖母 松野 陽子

よういどん なみとかけっこ たのしいな  
南相馬市立大舞小学校 1年 志賀麻佑子  
よういどん 気持ちは先に 足もつれ  
祖母 志賀レイ子

なみがきた はやくつかまれ パパのあし  
南相馬市立太田小学校 2年 花井 颯汰  
波よりも 引きが大きい 子のちから  
父 花井 勝美

すず虫の 音色がわたしの 子もりうた  
南相馬市立石神第一小学校 2年 星 萌々子  
亡き母の 愛した音色 子も愛し  
母 星 博子

いもうとを おこるすがたは まるで母  
南相馬市立石神第二小学校 2年 佐藤亜衣子  
ああがっかり おこる姿が 似てるとは  
母 佐藤有里子

お父さん 速かったでしょ ストレート  
南相馬市立石神第二小学校 3年 菅原 健太  
まだまだだ 言った方がいいが 手がシビレ  
父 菅原 光男

あゆつりで じいじにおんぶし 川わたる  
南相馬市立八沢小学校 2年 荒 拓翔  
孫背負う 父の姿に 懐しむ  
母 荒 真弓

知らぬ町 そっと母の手 とってみる  
南相馬市立八沢小学校 6年 佐藤 凧沙  
不安気に 寄り添う娘の 肩を抱く  
母 佐藤 公子

いちねんせい だけどたまには だっこして  
南相馬市立上真野小学校 1年 遠藤 寛真  
抱きしめる 背たけも伸びて たくましく  
母 遠藤里加子

おきなわの ジンベイザメは ゆうだいだ  
南相馬市立小高小学校 3年 今村 嘉秀  
雄大に 人生およげと 子に願う  
母 今村 理子

魚ずき アクアマリンで 発揮する  
南相馬市立小高小学校 4年 吉田 直生  
水族館 ガイドは我が家の さかな君  
母 吉田 美秀

車いす 押して出かける ぼんおどり  
南相馬市立小高小学校 4年 渡辺 朋香  
曾祖母を そっと気づかう 小さな手  
母 渡辺 教子

母の背に 仕事のつかれ 感じとる  
南相馬市立小高小学校 6年 渡辺 拓実  
言わぬのに そっと肩もむ 我子の手  
母 渡辺 教子

バツタ見て おんぶしている おやこあい  
南相馬市立福浦小学校 2年 佐々木 亮  
おんぶして 三歩あるけば もうおりて  
母 佐々木玲子

うみいった なみがざぶざぶ たのしいな  
南相馬市立金房小学校 1年 齋藤 志歩  
夏の海 久しく握る 我が子の手  
父 齋藤 勝吉

ばあちゃんの ふりわざゆり玉 ぼくかっさい  
南相馬市立金房小学校 2年 今野 凱生  
たらちねの 時の流れを 我思う  
母 今野 有里

ゲロゲロと かえるもいっしょに うたってる  
南相馬市立金房小学校 2年 玉川 響  
田んぼ道 子どもら三人 大合唱  
母 玉川 洋子

アイナメだ やっぱりすごいな お父さん  
南相馬市立金房小学校 3年 田仲 幸佑  
アイナメで ホッと胸を なでおろし  
父 田仲 克好

皿あらい ママとおはなし うれしいな  
南相馬市立金房小学校 3年 渡辺 真依  
皿洗う 音より響く 笑い声  
母 渡辺 京子

一日の 警察署長だ 胸を張る  
南相馬市立原町第一中学校 1年 佐藤 美結  
威張ってる 孫に通報 しどろもどろ  
祖母 桑折 輝子

山歩き 共に感じる 夏の声  
南相馬市立原町第一中学校 2年 橋本 幸紀  
語らずも 自然と和む 山河の音  
父 橋本 徹也

なつかしい 祖父の笑顔を 思い出す  
南相馬市立原町第一中学校 3年 大瀬 成美  
迎え火を 囲みて話す 在りし日々  
母 大瀬 幸枝

座禅組み 整いました 我が心  
南相馬市立原町第三中学校 2年 上野 千穂  
子に習い 座禅組んだら 足がつり  
母 上野祐美子

県大会 強者揃いに 武者ぶるい  
南相馬市立鹿島中学校 2年 俣野 絢  
竹刀(けん)を手に 頑張れ我が家の 藍色道着(サライブル)  
母 俣野ひろみ

来年は 出陣できると 夢にみて  
南相馬市立小高中学校 2年 杉本 美里  
憧れる 娘に着せる 陣羽織  
母 杉本 晴美

日曜日 笑顔をとどける 面会日  
南相馬市立小高中学校 3年 半谷 泰成  
また来るネ 孫の一言 命づな  
祖母 半谷美智子

じょうずって バドミントンで いわれたよ  
飯館村立飯櫃小学校 1年 佐藤 瑞希  
うれしさが 笑顔で伝わる 帰り道  
母 佐藤 美和

大物だ ヒトデかかって 大笑い  
浪江町立浪江小学校 4年 明治 真結  
しあわせが きらきら映る 夏日かな  
母 明治 和枝

こあじたち みえているのに つれないな  
浪江町立請戸小学校 1年 平山 翔太  
いざつるぞ 魚と人の 知恵くらべ  
母 平山 直子

とんでいけ じいちゃんてづくり しゃぼんだま  
浪江町立苅野小学校 1年 佐々木詩音  
祖父と孫 笑顔輝く 七色に  
父 佐々木友樹

お家でね 流したそうめん 食べまくる  
浪江町立苅野小学校 3年 根岸真奈美  
父下流 待てどくらせど 食べられず  
父 根岸 好洋

ひぐらしと コラボに喜ぶ 祖父かわい  
浪江町立苅野小学校 5年 松本 杏奈  
ひぐらしと 孫の朗読 競い合い  
祖父 阿部 昌雄

夏の夜 歩みをゆるめて 母を待つ  
浪江町立浪江中学校 3年 松本 英樹  
いつの間に 息子が頼りの 夜の道  
母 松本 明美

キャッチボール にげないでよね お母さん  
葛尾村立葛尾小学校 4年 松本 龍太  
受ける手が しびれるほどに たのもしく  
母 松本 静華

たいこのね ひびけちちまで やぐらまで  
双葉町立双葉南小学校 2年 林 心凜  
盆の入り 我の笛にて 鼓よ響け  
父 林 文和

そらを見て おもいだすのは パパのかお  
双葉町立双葉北小学校 1年 守家 偲音  
抱きしめて ひとりじゃないよ これからも  
祖母 守家 文子

おかあさん 生んでくれて ありがとう  
大熊町立大野小学校 2年 小勝 優希  
涙した 立ち会い出産 感激で  
父 小勝 浩

筆談で 「ベリーグッド」と ほめられた  
大熊町立大熊中学校 2年 平島 幸奈  
声に出し すごいぞ幸奈 伝えたい  
祖父 山村 哲雄

久々に 親子の会話 はずむ旅  
大熊町立大熊中学校 3年 宗像 奈緒  
年頃の 心が見えた 旅路かな  
母 宗像 美緒

虫がきて おいはらう父 たくましい  
富岡町立富岡第二小学校 2年 加井はづき  
虫くるな へっぴり腰と 震える手  
父 加井 邦博

久しぶり 優しい味した あんこもち  
富岡町立富岡第一中学校 2年 櫛田 希望  
孫去って 一つのごさね あんこもち  
祖母 差波 セツ

ばあちゃんも 大好きだった かき水  
富岡町立富岡第二中学校 1年 大和田佳蔵  
炎天下 氷食べつつ 偲ぶ義母(はは)  
母 大和田春美

赤灯籠 迎えて祖父を なつかしむ  
富岡町立富岡第二中学校 2年 坂本 樹  
団らんの 上座は今も 父の席  
母 坂本智恵子

雲よ雲 笑顔届けて 遠い空  
富岡町立富岡第二中学校 3年 林 真己  
見上げるよ 家族の笑顔 同じ空  
父 林 秀孝

勝つところ 親に見せれず 悔し泣き  
川内村立川内中学校 3年 三瓶 拳也  
いいんだよ 頑張った事 わかってる  
母 三瓶 京子

鮎釣りで とうとう主を 釣り上げた  
榎葉町立榎葉北小学校 5年 満田 遥花  
やられたな 父も負けじと 尺ねらい  
父 満田 貫

ぼくの靴 祖母の足にて よみがえる  
榎葉町立榎葉中学校 1年 鈴木 玲雄  
散歩靴 孫のおさがり 軽やかに  
祖母 鈴木ハツエ

にゅういんと いたいちゅうしゃを がんばった  
広野町立広野小学校 2年 橋本 良心  
障害と 向き合い歩む 左足  
母 橋本 乃美

ルノワール 絵の奥深さに 息をのむ  
広野町立広野中学校 1年 杉谷 瑛介  
時空超え 筆が伝える 香りまで  
母 杉谷 弘美

「おかえり」と 母を待ってる 夏休み  
いわき市立平第四小学校 4年 鈴木 美紅  
「ただいま」と 笑顔の娘に ほっとする  
母 鈴木 由美

父の服 はじめて私が ボタンづけ  
いわき市立平第六小学校 5年 三富 愛奈  
娘(こ)の手先 ケガはするなと のぞき見る  
父 三富 直也

午後二時に 汗かく父と 梅返す  
いわき市立郷ヶ丘小学校 3年 鈴木 春菜  
土用の日 梅を返す手 大人びて  
父 鈴木 吉則

通知票 開くしゅんかん 目をとじる  
いわき市立中央台北小学校 4年 松本 楓花  
通知票 渡す手伝わる 緊張感  
母 松本 真葵

しょうゆめし 今日わたしは 料理人  
いわき市立中央台南小学校 4年 手代木 慶  
おいしいよ はりきる娘の こげライス  
母 手代木織江

旅先の 僕が専属 カメラマン  
いわき市立中央台東小学校 6年 伊藤 慎一  
ハイチーズ 父と母との 笑顔とり  
母 伊藤 純子

手をつなぐ はずかしいけど うれしいな  
いわき市立夏井小学校 6年 矢吹 誠一  
帰り道 今年までかと 手を伸ばす  
母 矢吹美奈子

母とやる 料理にみんな 大まんぞく  
いわき市立四倉小学校 5年 猪狩 愛架  
父は言う 主婦の味から シェフの味  
母 猪狩八重子

はん合で はじめてたいて せいこうだ  
いわき市立大野第二小学校 3年 木田 怜那  
ひとくちね 味見で顔を 見合わせて  
母 木田 智子

母さんは わたしのせんぞく びょうしさん  
いわき市立小玉小学校 3年 海野 涼風  
鏡見て 返す笑顔に 安堵する  
母 海野 由紀

かあさんの グーよりすごい でかトマト  
いわき市立桶売小学校 3年 根本 嘉大  
まっかっか トマトと息子の 丸い顔  
母 根本真理子

草むしり 母に元気を ハイ麦茶  
いわき市立内町小学校 4年 青天目大地  
たぶたぶの 優しさ飲みほし 氷音  
母 青天目良子

なつやすみ ママのてつだい ふるあらい  
いわき市立御厩小学校 1年 安藤 万葉  
我子の跡 見つからぬように やり直す  
母 安藤 圭子

かみのけを なでるママの手 気もちいい  
いわき市立高野小学校 2年 石川 ゆい  
髪を結い 鏡の中の 娘を想う  
母 石川 淳子

願い事 書いた短冊 「女子アナ」と  
いわき市立好間第四小学校 4年 神野 春花  
その横に 「老後を頼む」を 吊す父  
母 神野菜津子

ふるのじかん ばばにできごと はなしする  
いわき市立小名浜第一小学校 1年 堀川 藍未  
大切な 私の知らない 風呂時間  
母 堀川 久美

ばあちゃんの くつはまごから プレゼント  
いわき市立小名浜第一小学校 1年 若松妃奈子  
ありがとう 孫という名の 命綱  
祖母 根本 静江

「ないしょだよ」 母とのランチ うれしくて  
いわき市立小名浜第一小学校 5年 四家まりあ  
お姉ちゃん ヒミツでランチ また行こう  
母 四家 紀子

はがぬけた 顔見てみんな わらい顔  
いわき市立小名浜第二小学校 2年 小野 七望  
抜けた歯に 願いを込めて 天高く  
母 小野 賀代

「気をつけて」 手と手タッチで お見おくり  
いわき市立小名浜東小学校 2年 根本 紗希  
安全を 娘(こ)の手に誓い 「行ってきます」  
父 根本 克博

火渡りを 導く父が ほこらしく  
いわき市立小名浜東小学校 4年 久野 紀子  
渡る子に 無病息災 願いつつ  
父 久野 雅照

おおそうじ なくしたものが みつかった  
いわき市立江名小学校 1年 太 雅  
夏の午後 むかしばなしに 手を休め  
母 太 由美

「気持ちいい」 言われてうれしい マッサージ  
いわき市立永崎小学校 5年 唐木 舞  
いつの間に? つばをとらえる 小さな手  
母 唐木 美紀

じゃがいもの 皮むき汗かき 15分  
いわき市立泉北小学校 6年 佐久間柚衣  
母娘(おやこ)して つくったコロッケ 即完売  
母 佐久間邦子

パパちがう ぼくはせ中が かゆいんだ  
いわき市立植田小学校 2年 木村 蓮  
かいてよと せがむ背中に 書いた文字  
父 木村 哲章

「今日ね」と 話し続ける 夕食時  
いわき市立玉川中学校 1年 緑川 茜  
夕食の おかずになります 娘(こ)の話  
母 緑川 広美

父さんへ 弁当作る 夏休み  
いわき市立江名中学校 2年 本部 由比  
ふた開けて にっこり微笑む 父の顔  
母 本部 英子

一人部屋 私はわくわく 楽しいな  
いわき市立湯本第二中学校 1年 岩原 有希  
娘(こ)の成長 感じて複雑 一人部屋  
母 岩原奈保美

台所 言い合いながら 並ぶ夜  
いわき市立磐崎中学校 3年 五味淵 夕華  
今の味 孫子が上手に 作るなべ  
祖母 五味淵サダ子

夢だった 親との共演 大成功  
いわき市立植田中学校 1年 香取 伸弥  
音重ね 共に奏でる 演奏会  
母 香取 純子

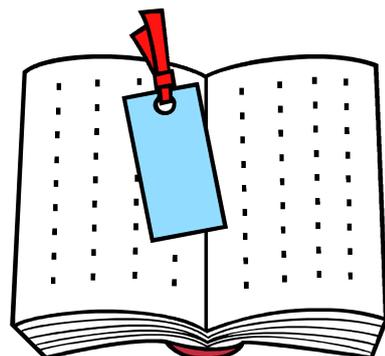
不思議だな 素直になれた 二人旅  
いわき市立勿来第一中学校 3年 大平なる美  
車窓には 大人顔した 娘あり  
母 大平ひろ美

洗濯干し 母よりきれいに 干したくて  
いわき市立入遠野中学校 3年 折笠沙綾佳  
いつまでも 娘の見本に なりたくて  
母 折笠 京子

あわせまつ 下校時間に 親の愛  
いわき市立貝泊中学校 3年 吾妻 智樹  
心知る 大事な会話 お迎で  
母 吾妻 博美

噛み締めた 心惜しくて 母の味  
福島県立磐城桜が丘高等学校 3年 松永 安由  
忘れずに いてと願うは 母の味  
母 松永 順子

以上 最優秀賞 5作品、 優秀賞 5作品、 佳作 10作品、  
最終選考まで残った作品 250作品、 合計270作品



# 審査員講評

審査員長 塚本 繁 氏

- 一 家庭生活を通して、親子を中心としたふれ合いを十七文字に表し「絆」を深めることを主眼とするこの事業は、九年目を迎え、四万四千三百八十七組（約八万九千人）の応募があり、過去最高となりました。
- 二 全体的にみて作品のレベルは、ここ数年ほぼ定着しつつあり、事業のねらいに合った良い作品が増えていることはすばらしいことと言えます。
- 三 大人と子どもの共通体験としては、例えば、日常的な遊び、家事の手伝い、親子兄弟姉妹で声を合わせての歌唱、読み聞かせなどがありますが、さらには、生きる上で大切な「命」、「自然」、「時間」、「物」、「家族」にかかわる親子ならではの心の通い合う体験の場が一層増えることを期待します。

審査員 坂本 忠雄 氏

地域の方との作品には、スポーツ関係のコーチや文芸・芸術関係の指導者とペアの作品等がみられました。これら指導者の方々が、技術指導のみならず、作品づくりにも関わりを持つようになってきたことは、地域の教育力を高める上で意義深いことと思います。

今年は、特に、地域行事や伝統行事への参加、農作業体験や親子レクで汗した体験等、動的な体験が、一緒に星を見るなどの静的な活動を詠んだ作品よりも多かったように思われます。これは、大人の方々の配慮が動的な活動を通して子どもたちに感動・関心を高めたものと思われます。

審査員 津村 栄 氏

今後もより良い作品を作る上で、次の点について工夫をお願いします。

- 一 句の流れとリズムについて、さらに研究してほしい。
- 二 漢字、ひらがな、カタカナそれに記号などを上手に使い分ける「ことばの仕分け」も大切であることに注目してほしい。
- 三 五七五の「上五」と「下五」の置き方について、取りかえ、入れかえをしてみるなど工夫してほしい。



< 審査の様子：11月25日 自治会館 >



## あとがき

本年度もたくさんの御応募ありがとうございました。また、本事業の推進に当たりましては、関係各位の御支援に対し感謝申し上げます。

さて、本年度は本事業に積極的に取り組んでいただいた学校に対し、各地域から1校ずつ表彰する「学校賞」を新設しました。今後も学校全体での取組みに一層の協力を賜りますようお願いいたします。

作品の最終審査については、3名の審査員の方をお願いをしておりますが、事業開始から、9年間に渡り御協力をいただき、一句一句丁寧に吟味し、厳正な審査をしていただきました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。

最後に、この作品を御覧になった皆さんが、心温まる交流や感動等、270組のさまざまな十七字のふれあいを感じとっていただければ幸いです。

平成22年度 十七字のふれあい

## 入賞・最終選考作品集

～十七字 世代をつなぐ 架け橋に～

発 行 福島県教育委員会

問合せ先 福島県教育庁社会教育課

TEL 024 - 521 - 7799

FAX 024 - 521 - 7974

ホームページアドレス

<http://www.syakai.fks.ed./17zi/17zioubo.html>

発行日 平成23年1月20日